

亡くなった学生の家族からのメッセージ ④

東灘区御影石町のアパートで亡くなった藤原信宏さん

(当時・経営学部4年、三重県立津高出身)の父・宏美さん、母・美佐子さん

宏美さん：顔は綺麗でして、胸元が砂と血だらけですか。もろに梁が胸の上に落ちたという…。胸部圧迫死。だから痛いとかなく一瞬だったでしょうね。

宏美さん：遺品の中から卒論が出てきた。あとで提出したら、完成稿やってみたいです。

美佐子さん：(震災で多くの学生が亡くなったことを)知っていて欲しいですね。

宏美さん：神戸大学の慰霊碑の献花式(に参列すること)は、一つの目標になってるんですね。1月17日が過ぎて、はじめて年がかわるみたいな感覚です。



東灘区本山中町のイーストハイム1階で亡くなった森 渉さん

(当時・法学部4年、大阪府立泉陽高出身)の姉・祐理さん



祐理さん) 教会の(手配してくれた)車から男の人4人ぐらいで弟の遺体が我が家にかつぎこまれたんです。頭から足まですっぽり、ドロドロの毛布で包まれて運ばれてきました。

祐理さん) 神戸大学では39人が亡くなりました。その命を受け継いでいてほしいです。今、これだけ各地で災害が起こっています。若い世代のみなさんが、それぞれの置かれた場所で発信していてほしい。この神戸の地で学びをしたっていうその

の思いを、心のどこかに刻んで、生きていてほしいなって願います。

ご遺族のメッセージはブログ (https://blog.goo.ne.jp/kobe_u_media) にアップしています。(→QRコードからアクセスできます)

